

にじいろ



地方独立行政法人 茨城県西部医療機構

茨城県西部メディカルセンター

Ibaraki Western Medical Center



病院理念

地域の中核病院として患者中心の良質な医療を提供します。



西部メディカルセンターヘリポートからの景色

基本方針

1. 地域医療のコントロールタワーとして保健・医療・福祉の連携を推進します。
2. 地域の住民や医療機関に開かれた医療施設とします。
3. 安全で心のかもった最善の医療を提供します。
4. 地域災害拠点病院として災害に備えます。
5. 健全で効率的な病院の運営・経営を行います。
6. 知識・技能向上のため研修に積極的に取り組みます。
7. 職員は相互の理解と敬意に基づき組織の融和に努めます。

目次

疾病コラム「認知症のはなし」	2
栄養管理課「サルコペニア（筋肉減少症）について」	3
看護部「皮膚・排泄ケア認定看護師」	3
ドクター紹介	4
新スタッフ紹介	5・6
薬豆ちしき「薬による認知機能障害と認知症治療薬」	6
地域医療連携室より	7
筑西診療所より	7



認知症のはなし



内科医長 寺田 真

はじめに

全世界の認知症者数は2015年時点で4,680万人、わが国においても2012年時点での高齢認知症者数は462万人、有病率は15%と推計されており、今後も高齢化とともに増加が予測されています。そこで令和元年の最初の疾病コラムでは認知症を取り上げます。

ものわすれだけではない認知症

認知機能は「学習と記憶」のほか、「複雑性注意」「遂行機能」「言語」「知覚-運動」「社会的認知」など複数の領域から構成されており、いずれかの「認知機能の障害によって日常生活や仕事に支障をきたした状態」であれば認知症と診断されます。

アルツハイマー型認知症、レビー小体型認知症、血管性認知症、前頭側頭型認知症が4大認知症として知られていますが、認知機能がどのような組み合わせで障害されるかは、疾患や個人によって様々です。典型的なアルツハイマー型認知症では「さっき言われたことを覚えていない」「ものを置いた場所を忘れる」などの記憶障害（いわゆる、ものわすれ）が主症状ですが、他の認知症では記憶障害が目立たず、症状が進行するまで気づかれない場合もあります。これらの認知症では随伴する症状が診断の手がかりとなることがあり、たとえば、「就寝中の寝言とともに激しい体の動きがみられる」レム睡眠行動異常や、「動作が遅い」「体が固い」などのパーキンソン症状、「子供や小動物が見える」幻視はレビー小体型認知症で多くみられます。また、前頭側頭型認知症では「同じ服ばかり着る」「毎日同じ時間に同じ行動をとる」などの常同行動、「言いたい言葉が出づらい」などの失語がみられることがあります。

治療可能な認知機能障害

4大認知症のほかにも認知機能を低下させる原因は多種多様ですが、甲状腺機能低下症やビタミンB群欠乏症、梅毒感染などは内科治療により、また、頭蓋内の血腫により脳が圧迫される慢性硬膜下血腫や、脳脊髄液の過剰による正常圧水頭症は、外科加療により改善が見込めることから、認知症の外来では、初めに「治療可能な認知機能障害」ではないかを調べます。認知症の診断には、ふだんの患者さんをよく知る方からの情報がとても重要であり、外来受診時に同席していただくことが正確な診断のためにとっても大切です。

高齢発症てんかんと認知症

高齢者の認知機能障害の原因として、てんかんが注目されています。高齢者のてんかんは、非けいれん性が多く、

症状が軽微、多彩で、意識障害を伴う発作をきたしやすいことが特徴であり、一時的な記憶障害だけが目立つ「一過性てんかん性健忘」では、口をもぐもぐさせたり、体を震わせる発作で気づかれることがあります。頭部MRIや脳波検査を繰り返し受けることで診断がつき、適切な抗てんかん薬の内服で認知機能障害が改善する可能性があるため、早期の医療機関受診が重要です。

認知症と自動車運転

2002年の改正道路交通法において、認知症により自動車運転に制限が設けられ、2009年からは75歳以上の高齢ドライバー免許更新に際して、講習予備検査が義務付けられています。認知症のおそれと診断された場合は臨時適正検査や医療機関受診を指示されますが、どのタイプの認知症が自動車運転に危険を生じるかについて、明確な結論は出ていません。しかし、運転免許更新の機会に、本当に運転を継続すべきか、家族や親しい人と話し合うことが大切です。

おわりに

認知症の研究は日々着実に進歩していますが、根本治療法やワクチン療法は未だ開発途上です。認知症の危険因子となりうる生活習慣病の治療や服薬内容の見直し、介護サービスの導入も重要な治療のひとつと考えています。当院でも様々な部門のスタッフや医療ソーシャルワーカーと協力し、少しでも患者さんとご家族の負担を軽減できるよう努めてまいります。



当院の神経内科領域の診療体制

当院では富所、寺田、保坂（いずれも神経内科専門医）が神経内科領域の専門外来を担当しており、ものわすれ以外に、しゃべりにくい、力が入りにくい、しびれ、ふらつき、ふるえなどの症状に対応しています。神経内科外来の特徴として、他科と比べて病歴聴取や身体診察に時間を要するため、初診の患者さんはかかりつけ医からの紹介や内科初診外来からの予約をお願いしております。検査では血液検査、脳脊髄液検査、頭部画像検査（MRI、CT）、神経電気生理検査（脳波、筋電図、神経伝導検査）の実施が可能です。症状や重症度によっては、大学病院や近隣の医療機関にご紹介する場合があります。

栄養
管理科

サルコペニア(筋肉減少症)について

管理栄養士 田口 孝

超高齢社会を迎える日本において、健康寿命の延伸、介護予防が大変重要な時代になってまいりました。ヒトは誰しも老化現象に逆らうことはできません。なかでも加齢にともない体を形作る骨格筋の減少と筋力低下をきたす症状を「サルコペニア」と言い、健康長寿の妨げになり人生を大きく変える深刻な問題として注目されています。体重が減ってきた、歩く速度が遅くなった、椅子からの立ち上がりが困難になってきた、などの症状が「サルコペニア」の兆候です。歳をとったからしかたがないと諦めずに体力低下を予防することで、介護が必要になる時期を先送りにすることができます。今回はサルコペニアに関する栄養療法のお話をさせていただきます。

サルコペニアの予防改善にはロイシン(アミノ酸)を摂取し、かつレジスタンス運動(スクワットや腕立て伏せ)をすることが推奨されております。ロイシンはカツオ・まぐろ・鶏肉・納豆・牛乳・チーズなどのたんぱく源に多く含まれており、主食と野菜だけの食生活ではロイシンを充足することができず体は衰える一方です。さらに、高齢者はたんぱく質を摂取しても若い時のように効率よく体づくりへ利用できないため、たくさんのたんぱく源の摂取が必要です。1日3回毎食肉・魚・卵・大豆製品のいずれかを摂取し、「サルコペニア」を予防しましょう。

とはいえ、毎日バランスの取れた食事を調理し、摂取するのは難しいことだと思います。スーパー・コンビニ等で手軽に購入できるサラダチキンや鯖缶・シーチキンなどは調理不要でも栄養価の高い食品ですので、たんぱく不足が心配な方は普段の食生活に取り入れてみてはいかがでしょうか。また、当院売店には低栄養・サルコペニア対策の栄養補助食品も販売しております。栄養補助食品の活用も手軽で確実にロイシンを摂取できるのでオススメです。

体づくりには正しい知識と日々の実践が大切です。茨城県西部メディカルセンターではあらゆる治療の基盤となる栄養状態の管理を医師・管理栄養士・薬剤師・看護師・言語聴覚士による栄養サポートチーム(NST)により行っております。今後もNSTがこのコラムを通じ栄養管理に関する情報を報告させていただきます。今回は「サルコペニアとビタミンDについて」です。



看護部

皮膚・排泄ケア認定看護師

5階病棟 看護師 渡邊 純枝

当院には3名の皮膚・排泄ケア認定看護師が在籍しています。私たちは、創傷・ストーマ・失禁に関する看護を専門的に学んでいます。この3分野に共通していることはスキンケアです。スキンケアは健康な皮膚を維持していくこと、また皮膚が傷ついている場合には悪化せずに治癒することを目標にしています。院内で私たちはスキンケアの専門家として多職種と連携し、患者さんやご家族の苦痛や不安を取り除けるようなケアが提供できるように日々努力しています。



皆さんは「床ずれ」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。現在の高齢社会を背景に、介護の場面で遭遇することもあるかもしれませんので紹介したいと思います。通常私たちは、寝ている間に無意識に寝返りをしていますし、座っているときも少しずつお尻の位置を動かしています。しかし自分で動けなくなったときは、長時間同じ姿勢で自分の体重を支えなければなりません。そのため自分の体重で皮膚への血流を止めてしまう状態が続くと、体の組織が壊れてしまいます。これが「床ずれ」です。「床ずれ」はお尻や背中、踵など骨が出っ張っているところにできやすいため、まずは毎日皮膚をよく見て予防することが重要です。また皮膚を清潔にすること、浸軟(ふやけること)を予防することなども大切です。ケアしている中で変化があったときや心配なことがあれば、早めにご相談・受診していただければと思います。

ドクター紹介

内科 部長

① 小松 憲一

② 地域医療、総合診療、プライマリ・ケア

③ 4月から赴任致しました小松です。この地

域の医療に貢献できるように頑張ります。また、医学生
の教育も私の役割です。これからの医療のためには
若い医師の育成も重要で、それには住民の皆様の御協
力が不可欠です。宜しくお願い申し上げます。



内科 医員

① 保坂 孝史

② 神経内科全般

③ 神経内科では認知症からパーキンソン病

などの神経変性疾患まで幅広く診察いたします。何か
お困りのことがあったら気軽に受診してください。また、
筑西市出身であり、地元の医療に貢献できるように頑
張ります。



内科 医員

① 川又 睦

② 腎臓内科全般

③ 4月より茨城県西部メディカルセンターに

赴任しました。微力ではありますが、地域医療に貢献
できるよう診療してまいりますので、宜しくお願い致し
ます。



内科 医員

① 藤本 将友

② 消化器内科全般

③ 今年より西部メディカルセンターでお世

話になることになりました。患者様とお互いに相談しな
がら疾患についての治療方針、退院後の生活など入院
中だけでなく退院後のことも考えて治療をしていき
たいと思っております。何でも気軽に相談してください。
よろしくお願いいたします。



小児科 医長

① 高田 結

② 小児科一般・小児神経

③ はじめまして。4月より勤務しています高

田です。茨城県で診療するのは初めてで不慣れな点も
ありますが、この地域の自然の豊かさやお子さんの純粋
さ素直さに触れ、毎日楽しく診療させていただいていま
す。子育てに関する悩みなどもお気軽にご相談ください。



整形外科 医長

① 和田 大志

② 整形外科（股関節）

③ 筑波記念病院、筑波大学病院、キッコー

マン病院など経て4月よりお世話になっております。整
形外科一般、特に成人の股関節（人工関節など）を専
門にしており、ナビゲーションや3Dプランニング、最
小侵襲手術など最新技術を取り入れています。



整形外科 医員

① 堤 亮介

② 整形外科全般

③ この度、4月から茨城県西部メディカルセ

ンター整形外科に赴任いたしました堤亮介です。当院
は地域の中核病院ということもあり、その責任をもっ
て仕事に取り組み、患者様が快適に治療を受けられる
ように努力して参ります。今後ともよろしくお願い申し
上げます。



形成外科 医員

① 松永 宜子

② 形成外科全般

③ 形成外科は、「体にできた変形や異常を

治す外科」です。やけど、けが、しこり、顔をぶつけた、
ずっと治らない傷がある、爪が曲がって痛い、など、
部位や大小を問わず身体の表面を専門としています。
お困りのことがあれば、まずは一度ご相談ください。



新スタッフ紹介

看護部

救急外来 師長 **中島 由美**



4月より救急外来師長に着任しました看護部の中島由美と申します。今までの経験を活かし地元の医療の質向上に貢献したく就職しました。救急外来の管理者としてチームナーシングを実施し、安全で安心した医療が受けられるように看護を実施していきたいと考えています。どうぞ宜しくお願いいたします。

看護部

HCU 師長 **中澤 貴代**



4月よりHCU師長を拝命しました中澤です。看護師になってから外科系での経験が多く、皮膚・排泄ケア認定看護師を取得しています。今までの経験値を基盤に、重症な患者さんとそのご家族に安全・安心な看護を提供できるようにスタッフと頑張っています。よろしくお願いします。

事務部

副部長 **大関 麻里子**



3月までの2年間、筑西市役所で機構設立までの準備、設立後の運営支援に従事させて頂きましたが、今回改めて、茨城県より機構へ派遣となりました。微力ですが、機構が地域に信頼される医療を提供するために事務部としてやるべきことを確実に実施すべく、事務部職員と共に職務に邁進していきたいと思っております。

事務部

経営企画課 課長 **小林 幸夫**



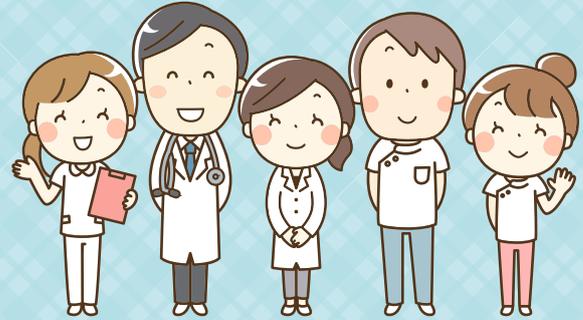
本年4月より経営企画課長として着任しました小林幸夫です。小山で妻と1匹の猫(サダヨ)の二人と1匹で生活をしています。趣味は車とロードバイク(自転車)です。これから西部メディカルセンターの一員として小山での経験を活かし、当院の経営企画を更り多きものにして行きたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

事務部

専門監 **水越 輝夫**



4月より事務部専門監を仰せつかりました水越です。消防時代には、救急を含め皆様方に変にお世話になりました。今後は前歴を生かし、防災体制や救急隊を含めた地域メディカルコントロール体制の充実と、病院発展のため頑張るつもりですので宜しくお願い申し上げます。



3A病棟 看護師



- ① **小松崎 彩香**
② バドミントン、YouTubeを見ること
③ 一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願いします。



- ① **中川 知美**
② 読書、ライブ
③ 患者さんや地域の方々に貢献できる看護師を目指して頑張ります。



- ① **前添 眸**
② ドライブ
③ 先輩方が丁寧に業務や技術を教えてくださるので仕事が楽しいです。

3B病棟 看護師



- ① **堀江 麻佑子**
② ドライブ
③ 3B病棟に配属になり、1ヶ月が経ちました。先輩方の丁寧で優しいご指導の元、日々知識と技術を学んでいます。まだまだ未熟ですがこれからも精進していきたいと思っております。



- ① **塚田 由利子**
② 旅行
③ 思いやりを大切に、より良い看護が提供できるよう頑張ります。



- ① 氏名 ② 趣味 ③ 一言

4A病棟 看護師



- ① **中久喜 有希**
② ショッピング
③ 焦ってしまう性格ですが、落ち着いて仕事を覚えていきたいです。ご指導宜しくお願いいたします。

5階病棟 看護師



- ① **鶴見 春香**
② ゲームをすること
③ 地元の皆様に貢献できるよう、頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。

リハビリテーション技術科 理学療法士



- ① **岩村 圭祐**
② 映画・釣り
③ 九州出身です。早く茨城県の方言や地域性を知ってきたいです。



- ① **岩崎 巧**
② 趣味：ゴルフ・昼寝
③ 全ての人から笑顔がいただけるように一生懸命頑張ります。

新スタッフ紹介

リハビリテーション技術科 作業療法士



- ① 直井 里冴
- ② 旅行・お酒・道の駅
- ③ 大好きな地元に貢献できるよう頑張ります。宜しくお願いします。

リハビリテーション技術科 言語聴覚士



- ① 細谷 ゆうき
- ② カラオケ・食べ歩き
- ③ 少しでも患者様のお役に立てるよう頑張ります。

薬剤科 薬剤師



- ① 飯村 淳子
- ② 旅行
- ③ 生まれ育った筑西市に恩返しをしたいと思い入職しました。

放射線技術科 診療放射線技師



- ① 谷貝 愛実
- ② お菓子作り
- ③ 仕事に早く慣れて、病院や地域に貢献できるように頑張ります。



地域医療連携室 社会福祉士



- ① 平間 早英
- ② ヨガ
- ③ 笑顔を忘れず、SWとして一早く活躍できるよう頑張ります。



- ① 白田 真佑実
- ② 旅行
- ③ 病院、地域の皆様に貢献できるよう精進してまいります。

事務部 人事課



- ① 川田 純平
- ② フットサル
- ③ この度人事課配属となりました、川田です。一日でも早く仕事を覚えられるよう頑張りたいと思います。

事務部 医事課



- ① 細野 葉月
- ② 歌を聴くこと、ショッピング
- ③ 患者様やスタッフから頼られる事務員になれるよう努力します。



薬

豆ちしき

薬による認知機能障害と認知症治療薬

薬剤科 江田 沙那恵

疾病コラムで取り上げたように、高齢化社会に伴い認知症患者はますます増加することが予想されます。認知症を引き起こす要因は様々ですが、薬もその一つです。

認知症のうち、アルツハイマー型とレビー小体型は、記憶や覚醒に関与するアセチルコリンという物質の減少が原因の一つです。薬の中にはこのアセチルコリンの働きを抑えてしまう抗コリン薬というものがあり、認知機能障害を引き起こすとされる薬の中でも注意が必要です。その他にも、認知機能に影響があるとされる薬は100種類以上あり、身近なもので胃薬や鎮痛薬、吐き気止め等も含まれます。これらの薬は一つ一つが安全でも、飲み合わせにより悪影響を及ぼす場合があります。薬が増加すると認知機能障害のリスクも増加し、2~3剤では2.7倍、4~5剤では9.3倍に上昇するという報告もあります。高齢者は複数の医療機関から薬を処方されていることが多く、代謝機能も落ちているので薬による認知機能障害を起こしやすい状態です。リスクを減らすため、お薬手帳を活用し、薬の情報を一元化しておくことが大切です。

現在、認知症の根本的な治療薬は存在せず、進行を抑える薬しかありません。

アセチルコリンの減少を抑える作用のある薬には、アリセプト、レミニール、リバスタッチパッチ（イクセロンパッチ）があり、アルツハイマー型認知症に使用されます。アリセプトはレビー小体型認知症にも適応があります。同じ作用を持つ薬ですが、異なった特性があり、剤形が豊富で患者さんの身体機能や嚥下機能に合わせた使い分けが可能です。アルツハイマー型認知症に使用できる薬には、メマリーという薬もあります。脳内で過剰に発生したグルタミン酸という物質の刺激を抑えることで認知機能を改善します。どの薬も少量から開始し、徐々に量を増やします。飲み始めや増量時には吐き気や下痢などの副作用が現れることがあるので、注意が必要です。薬による治療は、家族や周囲の人の協力が必要不可欠です。治療に関して不安なこと、気になることは記録しておき医師、薬剤師に相談して下さい。

地域医療連携室より

地域医療連携登録について

当院は、地域の医療機関との円滑な連携を図るため、各医療機関と地域医療連携登録を行い、二人主治医制をとっています。

地域医療連携登録を行うことで、当院で治療の終了した患者さんが退院・逆紹介（当院から医療機関への紹介）した際、住み慣れた地域で長く生活するために支える制度です。

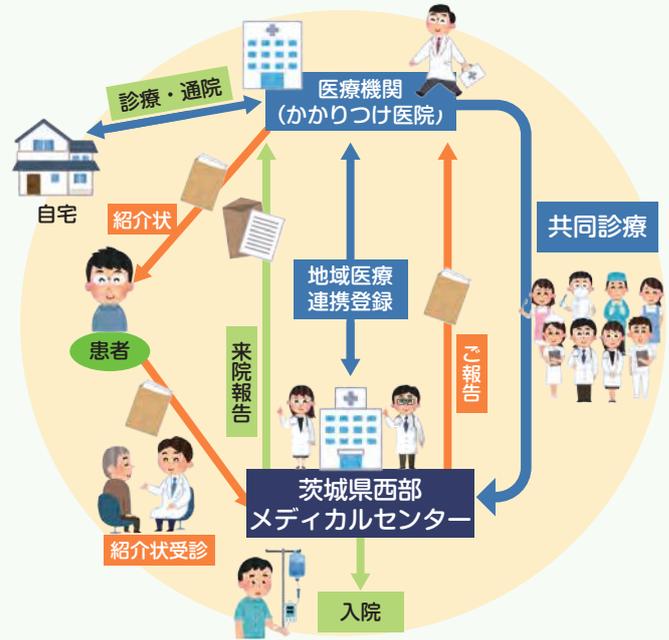
現在、68カ所の医療機関と登録を結んでおり、下記の様なメリットがあります。

1. 二人主治医制による共同診療
2. 高度医療機器の利用（CT・MRI・マンモグラフィー・骨密度）
3. 西部メディカルのホームページへの掲載（任意）
4. 院内で地域医療連携登録医療機関の掲示（任意）
5. 地域の様々なデータの共有

地域医療連携登録をご希望される医療機関は、下記地域医療連携室にご連絡下さい。

お問い合わせ先：

茨城県西部メディカルセンター地域医療連携室
Tel.0296-24-9111（代表）



筑西診療所より

「たまタマ」通信『玉戸より愛をこめて』1

筑西診療所 所長 佐々木将人

今年3月末、西部メディカルセンター HCUから、気管切開後人工呼吸器装着後、胃瘻経管栄養の患者様がお自宅に退院されました。チーム『たまタマ』にとって初めての重装備神経難病の方なので、退院前カンファの出席のみならず、何度も病棟を訪問し退院に備えました。4月10日より在宅療養3週目に入り、主介護者のご主人は、気管カニューレの吸引、経管栄養や簡易懸濁法による薬剤注入、排痰補助装置などハードな医療処置をこなしながら、日夜介護に励んでおられます。鑑賞を最も楽しみにしていた手作りのお庭には、濃い紫色のみやこわすれが咲き香り、患者様もこころ穏やかに過ごしておられます。

今後は過酷な介護を強いられているご主人に骨休めしていただくため、計画的『レスパイト入院』が必要となるでしょう。引き続き、センターの皆様には、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

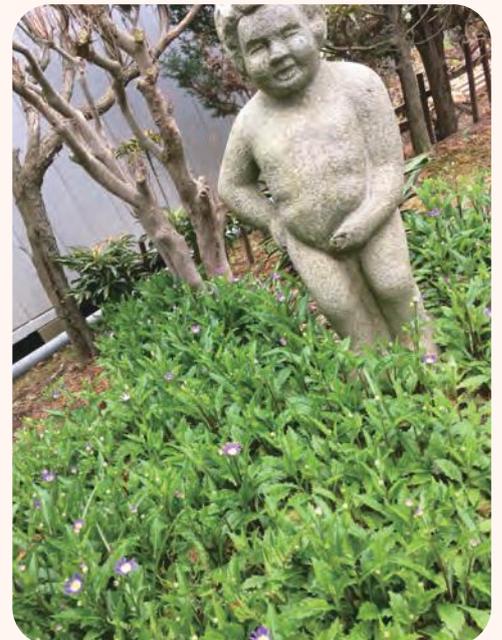
10月のオープン以来、訪問診療の患者様は、35名を超えました。すでに、数名の患者様の緊急入院治療をお願いしました。担当の先生方、スタッフの皆様のかき細かな診療のおかげで、ADLレベルの低下もなく、短期間の入院でほぼ全員在宅療養に復帰できました。この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

今冬、在宅療養患者様のADLレベル低下例に少なからず遭遇してきました。急性上気道炎や感染性腸炎等ありふれた感染症、寒冷に伴う不活動、足趾の胼胝や鶏眼の

痛み、急性腰痛症（ぎっくり腰）、偽痛風発作など、寝たきり予備軍に陥るイベントには枚挙にいとまがありません。

このような状況でも、訪問リハビリによるほんのわずかな手助けによって、比較的短期間で回復していく方は少なくありません。幸い今年4月から、念願のリハスタッフを筑西診療所に常勤派遣していただきました。早速十数名の方々の訪リハをお願いしました。ただただ深謝です。

梶井院長が常々強調されている『二人主治医制』は、在宅医療においてこそその必要性和強みが発揮されることを実感しています。今後共、皆様方のご指導・ご鞭撻をよろしく願いいたします。



「お庭の“みやこわすれ”」

救急外来・夜間受付・面会時間

救急外来・夜間受付

ご来院の前に以下をお電話でご連絡下さい。

- 患者さんの氏名・生年月日・住所
(当院の診察券をお持ちの方は診察券記載の番号をご連絡下さい)
- 患者さんの様子
ケガの方は
 - いつどのようにしてケガをしたのか
 - ケガの場所
 - ケガの程度
(キズの大きさ、深さ、痛みの程度、出血の有無)
 病気の方は
 - 現在の症状
(体温、苦痛の程度や場所、下痢やおう吐の有無など)
 - かかりつけ医の有無
 - 既往歴
(慢性的な持病や過去に罹った大病、入院歴、手術歴など)

連絡先

茨城県西部メディカルセンター 0296-24-9111 (代表)

お持ちいただくもの

- 診察券 (お持ちの方)
- 医療受給証 (お持ちの方)
- 健康保険証
- お薬手帳
- 紹介状 (他の医院、病院からの方)

救急外来の場所

時間外入口を
入って右側の
夜間休日受付で
受付をして下さい。



※時間外入口は、
病院北側にあります。

面会時間

平日・休日とも 14:00 ~ 20:00 までです。

- HCU 病棟は重症患者を診療している為、面会に制限があります。尚、詳細については病棟看護師にお尋ねください。
- 小児科病棟での面会はお両親・祖父母のみでお願いします。
- お子さま連れでの面会は感染予防の為、ご遠慮ください。
- 電話でのお問い合わせについては個人情報保護のため、お答えすることが出来ませんので、ご了承ください。



地方独立行政法人 茨城県西部医療機構

茨城県西部メディカルセンター

Ibaraki Western Medical Center

〒308-0813 茨城県筑西市大塚 555 番地
TEL : 0296-24-9111 (代表)
FAX : 0296-24-9171
H P : <http://www.iwmo.or.jp/>



- 診療科 内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、小児外科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、救急科、麻酔科 (水谷太郎)
- 受付時間 初診 月曜～金曜 8:30～11:00
再診 月曜～金曜 8:00～16:30
- 診療時間 9:00～17:00
- 休診日 土曜日・日曜日・祝日・年末年始

■ 交通案内

- ・電車をご利用の場合
JR宇都宮線小山駅乗り換え、
JR水戸線下館駅下車
下館駅北口より広域連携バス・
地域内運行バスにて10分
(電車所要時間、小山駅から6駅25分)
JR常磐線友部駅乗り換え、
JR水戸線新治駅より車で9分
(電車所要時間、友部駅から8駅33分)
- ・車をご利用の場合
北関東自動車道
桜川筑西ICより17分、
真岡ICより33分



地方独立行政法人 茨城県西部医療機構

筑西診療所

Chikusei Clinic

〒308-0847 茨城県筑西市玉戸 1658 番地
TEL : 0296-28-2261 (代表)
FAX : 0296-28-4471
H P : <http://www.iwmo.or.jp/page/dir000008.html>

- 診療科 内科
- 外来診療日 月曜日～金曜日 9:00～12:00
(受付は8:30～11:00)
- 訪問診療日 月曜日～金曜日 8:30～17:15
- 休診日 土曜日、日曜日、祝日、年末年始

■ 交通案内

- ・電車をご利用の場合
JR宇都宮線小山駅乗り換え、
JR水戸線玉戸駅下車
徒歩 3分
(電車所要時間、
小山駅から5駅18分)
- ・車をご利用の場合
国道50号線
「玉戸駅入口」信号から
北へ約100m



茨城県西部医療機構の職員(正規・非正規職員)募集中

病院ホームページをご覧ください。お電話にてお問い合わせください。

■ 問い合わせ 事務部人事課 TEL : 0296-24-9111 HP : <http://www.iwmo.or.jp/>

